

質問回答書

件名 令和8年度高等学校及び併設型中学校英語指導助手派遣業務

	質問	回答
1	実績評価については、今回のプロポーザルに参加する会社(グループ会社除く)の実績に限るという認識でよろしいでしょうか。	グループ会社全体の実績で評価いたします。
2	提案書については、今回のプロポーザルに参加する会社のみ(グループ会社除く)の実績を記載するという認識でよろしいでしょうか。	グループ会社全体の実績で評価いたします。
3	令和8年度の実際の派遣開始日、派遣終了日をご教示ください。	令和8年度の派遣開始日、派遣終了日は配置校により異なります。
4	令和8年度の8月中の勤務について、想定される日数、時間数、内容等についてご教示ください。また、令和7年度の実績についてご教示ください。	就業日等については、仕様書のとおりです。 8月中も、夏季休業期間終了後は、各学校のスケジュールに応じて勤務することがあります。 なお、令和7年度の実績は全学校合計で57日間勤務いただいています。
5	「仕様書:5 業務内容／(2)オ 英語教育に関する研究会及び研修会における英語指導」について、令和8年度の実施予定(時期、回数、時間数、実施場所、内容)をご教示ください。また、令和7年度の実績(時期、回数、時間数、実施場所、内容)についてもご教示ください。	時期や回数等に決まりはありませんが、年間を通じて、学校の求めに応じ、研究会や研修会への参加をいただくことがあります。
6	「仕様書:5 業務内容／(2)キ 海外大学進学支援プログラムにおける英語指導」について、令和8年度の実施予定(時期、回数、時間数、実施場所、内容)をご教示ください。また、令和7年度の実績(時期、回数、時間数、実施場所、内容)についてもご教示ください。	時期や回数等に決まりはありませんが、年間を通じて、学校の求めに応じ、海外大学への進学を目指す生徒等への指導、助言をいただくことがあります。
7	「仕様書:5 業務内容／(2)ク イングリッシュキャンプにおける英語指導」について、令和8年度の実施予定(時期、回数、時間数、実施場所、内容)をご教示ください。また、令和7年度の実績(時期、回数、時間数、実施場所、内容)についてもご教示ください。	令和8年度の実施予定について、詳細は未定です。 令和7年度は、横浜総合高校にて7月24日・25日の2日間実施いたしました。「AETと一緒に様々なミッションクリアを目指そう！」をテーマに、受信力・発信力を高める言語活動の指導をしていただきました。
8	AETに対する研修やミーティングについて、教育委員会または学校による指定のものがあれば、令和8年度の実施予定(時期、回数、時間数、内容)をご教示ください。また、令和7年度の実績(時期、回数、時間数、内容)についてもご教示ください。	時期や回数等に決まりはありませんが、年間を通じて、市からの要請に基づき実施するものであり、詳細は未定です。 令和7年度は、教育委員会からこども性暴力防止法に基づく研修を行いました。
9	提案書については、印刷方式(片面・両面)などに指定や制限などはございますか。	印刷方式に指定や制限はありませんが、原則、縦型、横書き、左とじとしてください。 なお、ホームページに掲載のPDFファイル「要領・仕様書等」の「提案依頼事項」に記載のとおり、「A4用紙1枚」とは、片面1枚のことですでのご留意ください。

10	プレゼンテーション当日の実施時間帯のご予定についてご教示ください。(例:午前、午後など)	午前中を予定しています。
11	プレゼンテーションの順番の決定方法についてご教示ください。	順番の決定方法は特に定めておりません。
12	プレゼンテーションの際の弊社出席人数について、制限はございますか。	会場の都合上、2名までとしてください。
13	令和7年度の契約事業者名、ALT人数(国籍)、契約金額(税抜)をご教示ください。	契約事業者は、株式会社インターラック関東南です。 AETの人数は20名ですが、国籍は把握しておりません。 契約金額は78,320,000円(税抜)です。
14	見積書の採点基準、方法をご教示ください。	見積書は参考のため、採点に含めませんが、概算業務価格(上限)に収まっていることを確認します。
15	第二評価委員会(ヒアリング)の日時、事業者からの参加人数の制限、審査員の人数・構成をお決まりの範囲でご教示ください。	ヒアリングの日時は、午前中を予定していますが、日程については事前の公表を行っていません。参加人数は会場の都合上、2名までとしてください。 審査員は委員長1名、副委員長1名、委員4名の合計6名です。 委員の役職等の詳細はホームページに掲載のPDFファイル「要領・仕様書等」の「実施要領」をご覧ください。
16	令和7年度の英語教育について現在実施中で令和8年度も続けて行う予定の取組や、課題感、令和8年度に向けた展望をご教示ください。	横浜市では「英語を活用しながら、多様性を尊重し、国際社会で協働・共生できる人材の育成」を目標に、外国語教育を推進しています。 課題としては、AETは授業内でのコミュニケーション活動や文化理解に貢献していますが、学校や教員によって活用度に差があり、発話機会の確保が十分でない場合があります。 令和8年度も引き続き、生徒が言語活動に取り組める授業実現、身に付けた英語を活用する機会の推進に取り組みます。